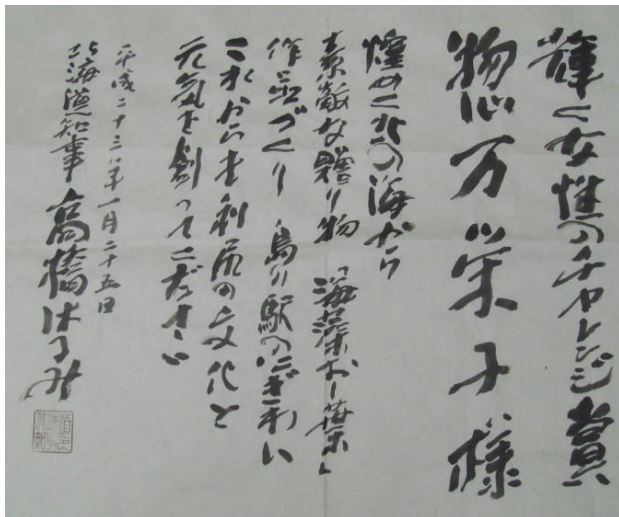


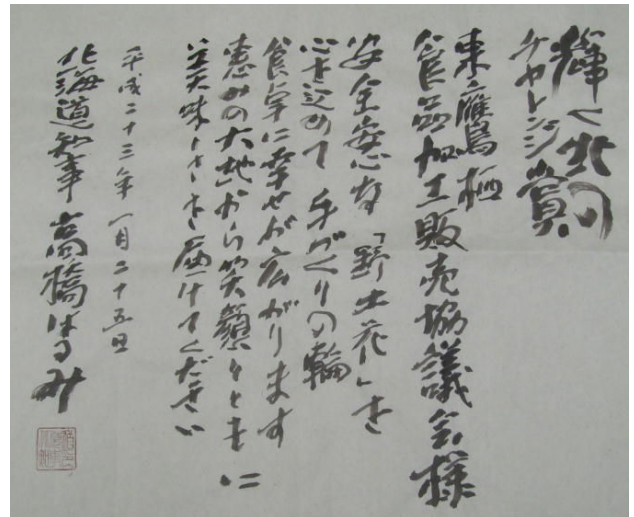
《表彰状》

揮毫 中野北 溟 氏



◀ 輝く女性のチャレンジ賞  
惣万栄子さん

▶ 輝く北のチャレンジ賞  
東鷹栖食品加工販売協議会



《副賞》

道産くるみ材製掛け時計

【これまでの受賞者】

○平成21年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…… 梅木あゆみさん（有）コテージガーデン代表取締役 月形町）  
輝く北のチャレンジ賞…… 本町かみさん会（会長 村田陽子さん 石狩市）

○平成20年度の受賞者

輝く男性のチャレンジ賞…… 坂田秀明さん（置戸町観光協会事務局長 置戸町）  
輝く北のチャレンジ賞…… レディース100年の森 林業グループ（代表 鷹嘴充子さん 南富良野町）  
輝く北のチャレンジ支援賞… 札幌市立藤の沢小学校保護者と教師の会（会長 星卓志さん 札幌市）

○平成19年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…… 湯浅優子さん（「つっちゃん」と優子の牧場のへや」経営 新得町）  
輝く女性のチャレンジ賞…… 谷あゆみさん（ばんえい競馬調教師、谷厩舎経営 帯広市）  
輝く女性のチャレンジ賞…… 川上博美さん（株）コサイン社員 旭川市）

○平成18年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…… 斎藤ちずさん（NPO法人ツカリ-コ理事長 札幌市）  
輝く女性のチャレンジ賞…… 岡田ミナ子さん（有）トゥリリアム・オカダ・ファーム取締役 遠軽町）  
輝く女性のチャレンジ賞…… 古内一枝さん（株）スポーツショップ古内取締役 札幌市）

○平成17年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…… 田澤由利さん（株）ワイズスタッフ代表取締役 北見市）  
輝く北のチャレンジ賞…… NPO法人お助けネット（代表 中谷通恵さん 白老町）  
輝く北のチャレンジ賞…… 西川マザーウッズ（会長 船越孝子さん 静内町）

○平成16年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…… 星川光子さん（NPO法人「いぶりたすけ愛」理事長 登別市）  
輝く男性のチャレンジ賞…… 馬淵悟さん（北海道東海大学教授 札幌市）  
輝く北のチャレンジ支援賞… 株式会社アイワード（代表取締役 木野口功さん 札幌市）

北海道環境生活部 暮らし安全局暮らし安全推進課 男女平等参画グループ  
TEL：011-204-5217(直通) FAX：011-232-4820  
平成23年1月

# 北海道男女平等参画 チャレンジ賞

## 平成22年度

町内小学校の総合学習授業で ▶  
海藻おしば体験を指導する  
惣万栄子さん（利尻町）



◀ 東鷹栖食品加工販売協議会  
の皆さん（旭川市）



## ごあいさつ

北海道知事 高橋 はるみ

平成22年度北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆さま、おめでとうございます。この賞は、それぞれの個性と能力を生かして活躍されている方々の活動を称えとともに、その活動を広く紹介することで、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目指し、平成16年度に創設したものであり、これまで道内各地で様々な分野においてチャレンジを続ける方々を表彰してまいりました。

今年は、「ふる里の新たな文化と観光の魅力を創出」、「手づくりの農産加工品による地域活性化」という、新たなチャレンジに出会うことができました。今後も、創造と挑戦の精神をもった、こうした取組が道内各地に広がっていくことを期待しています。

受賞された皆さまにおかれましては、今後も一層ご活躍され、ますます輝きを増していられるよう、心からお祈り申し上げます。

## 受賞された皆さまへ

北海道男女平等参画審議会 専門部会  
部会長 株式会社北海道アルバイト情報社 取締役 佐藤 正啓

平成22年度北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

今年は偶然にも応募者が全員女性（および女性団体）でしたが、審査の過程のなかで、あらためて教えていただいたことがあります。それは私たちの住む北海道の中には「より活用できる資源がまだまだたくさん眠っている」ということです。

利尻町の惣万栄子さんは、利用価値のなかった雑海藻を利用した「海藻おし葉」を利尻島の新たな文化・観光の魅力にしようと、先頭に立ちご活躍されています。

旭川市の東鷹栖食品加工販売協議会は、自分たちの生産した安全・安心な農産物に、さらに自ら付加価値をつけ、道内はもとより道外・海外まで販路を拡大しようとする活動であり、地域活性化へ向けた取組そのものです。

受賞者の皆さまの活動は、分野はそれぞれ異なりますが、私たちに力を与えてくれるものです。皆さまのより一層のご活躍と他の多くの方々のこれからのチャレンジを大いに期待しています。

### 《北海道男女平等参画チャレンジ賞とは》

職場、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野で、それぞれの個性と能力を生かしてチャレンジし、活躍している男性や女性、団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援している団体・グループを顕彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことによって、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目的としています。自薦・他薦を問わず候補者を募集しています。

賞の種類は次のとおりです。

- ・輝く女性のチャレンジ賞 (受賞者が女性個人の場合)
- ・輝く男性のチャレンジ賞 (受賞者が男性個人の場合)
- ・輝く北のチャレンジ賞 (受賞者が団体・グループの場合)
- ・輝く北のチャレンジ支援賞 (チャレンジを支援している団体・グループの場合)

## 【輝く女性のチャレンジ賞】

そつまん

惣万 栄子 さん

(NPO法人 利尻ふる里・島づくりセンター 利尻町)

結婚を機に夫の実家がある利尻島にわたり、「海藻おしば」に出会うまでは、手芸やパッチワークを趣味として生活していました。平成13年、これまで利用価値のなかった雑海藻に押し花の技術を取り入れた作品づくりを始めようと、利尻町に「海藻おしばの里づくり実行委員会」が発足。発足当初から中心となって活動に参画し、翌年には、本人を含めた8名が利尻島第1期生として「押し花インストラクター」資格を取得しました。

この実行委員会は、平成19年にNPO法人利尻ふる里・島づくりセンターに発展し、「海藻おしば」を活用して利尻独自の文化・芸術の創出に取り組みとともに、利尻島の駅「海藻の里・利尻」の運営を行っています。

組織の活動が年々広がっていくなか、多様な作品づくりを通しての商品開発をはじめ、体験講習会の講師や島の駅ギャラリーでの作品解説、高齢者参加の海藻素材づくりなど、先頭に立って意欲的に、利尻島の新たな文化・観光の魅力を創り出しています。

平成21年度には、旅行代理店へのPR活動が実り、島の駅で海藻おしば体験観光客の受け入れを開始したことから、インストラクターとして1人で体験講習の指導にあたりました。このような取組により、島の駅来場者は約6千4百人と6倍以上となったほか、この利尻町独自の体験ツアーが大好評であり、今年度も多くの観光客が訪れています。利尻島の新たな産業振興に大きく寄与する原動力として活躍している姿は、個性と能力を生かしたチャレンジの一つのモデルであり、今後の活動にさらなる飛躍が期待されます。



## 【輝く北のチャレンジ賞】

ひがしたかす

東鷹栖食品加工販売協議会

(代表 松倉 洋子さん 旭川市)

平成15年、旭川市東鷹栖農村活性化センター「野土花(のどか)」の開設に伴い、「私たち自身が日ごろ自分たちで食べている安全・安心な食材や加工品を少しでも多くの方に味わってほしい!」という食に対する熱い想いを持った、東鷹栖の6つの女性農業者グループが集まり、東鷹栖食品加工販売協議会を設立しました。

同協議会は、なんばん味噌・大豆味噌をつくる「自然工房ななかまど」、しそ飲料や煮豆をつくる「美土里の会」、減農薬野菜を使った漬物をつくる「菜の花」、米粉パンや自家製ベリーを使ったオリジナルジャムをつくる「華くらぶ」、和(なごみ)味噌をつくる「かたくり会」、トマトジュースをつくる「トマトヴィーナス」の6つのグループで構成しています。

地域と共に歩むという想いから、センターの名称「野土花」を統一したブランド名として、東鷹栖地域でその年収穫された米や大豆、

小麦、野菜を様々な農産加工品に一つ一つ心を込めて手づくりしています。地元の農産物直売所などで販売するほか、学校給食や保育所、飲食店で使われるようになってきています。また、インターネットを使った販売にも積極的に取り組んでいるほか、中国での販売に向けた輸出元契約を締結するなど、道外・海外での「野土花」ブランドの展開を図っています。

最近、「野土花」ブランドを知ってもらうため、「食」のイベントに積極的に参加したり、ホテルシェフの協力のもとに「野土花」の農産加工品を使ったレシピ本を発刊するなど、北海道のおいしくて安全・安心な農作物をPRしています。女性農業者のグループが力をあわせて地域の魅力を発信する活動は、女性の参画による地域の活性化や農業振興の一つのモデルであり、今後の活動にさらなる飛躍が期待されます。

